

荷主・物流事業者各位

国土交通省中国運輸局
経済産業省中国経済産業局
農林水産省中国四国農政局
広島県警察



G 7 広島サミット開催に伴う物流に係る御協力のお願い

平素より、物流の効率化など物流施策への取組に対しまして格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

G 7 広島サミットが5月19日（金）～21日（日）の間、広島市内のグランドプリンスホテル広島を会場に開催されます。これに伴い、期間前後と併せて5日間（5/18～22）、市内を中心に大規模な交通総量抑制・交通規制が行われることとなります。

広島県内の道路交通につきましては、物流面では広島県内外から広島市内へ、また市内から県内外への発着貨物に加えて、広島県内を東西あるいは南北に通過する車両も多数存在することから、高速道路、一般道路ともに交通量の大幅な削減が求められます。

また、当該5日間は各国首脳をはじめ、サミット関係者が車両を使い移動することなどから、安全交通の確保、渋滞・混雑の回避のための対策として、G 7 広島サミット交通総量抑制対策推進会議及び広島サミット県民会議では、サミットの円滑な運営・開催支援にあたり交通量を50%削減することを目標として掲げているところです。

こうしたサミット開催に伴う上記の状況に鑑み、物流に係る取組について、この度ご協力を切にお願いする次第です。

サミットに向けては、各社で取り組む物流の効率化を実践して頂き、開催期間中及びその前後の円滑な物流を実現するとともに、サミット終了後も持続可能な物流につなげていきたいと考えております。

つきましては、荷主・物流事業者各位におかれましても、下記の取組例等を参考に、取組の実施についてご協力頂きますようお願いいたします。

記

<お願いしたい取組例>

1. 交通量の抑制のための取組例

- ・複数荷主の連携による倉庫の共同使用、共同輸配送
- ・テナントビル等における集配業務の共同化
- ・分散している複数荷主の物流拠点の統合による輸送網の集約
- ・静脈物流の集約・効率化
- ・輸送頻度の削減 等

2. 交通量の分散化・平準化のための取組例

- ・十分なリードタイムでの発注による柔軟な輸配送時間帯の設定
- ・十分なリードタイムでの発注による柔軟な輸配送ルートの設定(山陽自動車道や広島市中心部に向かう一般道を使用しない輸配送ルートの設定)
- ・オフィス移転等大規模な物の移動が伴う作業の開催期間外への変更
- ・セール等販売促進企画の開催期間外への変更
- ・在庫調整による輸配送日の平準化
- ・付帯作業見直しや検品作業の簡素化による納品時間の短縮、輸送の効率化
- ・複数の物流拠点を保有する場合、拠点から配送されるエリア等の弾力的な運用(渋滞が予想されるエリアへの配送について、拠点の変更や複数拠点からの配送等)
- ・納品時間の夜間への変更 等

3. その他

特に渋滞が予想されるエリアにおいては、トラックの公道待機などによる渋滞悪化を防止するため、可能な限り「駐車スペースの確保」「スムーズな荷物の受け渡し」にご協力ください。

※広島県警察では、ホームページに交通規制情報等を随時提供しておりますのでサミットによる事業活動への影響把握や、サミット時に発生しうる混雑の回避策等の検討にご活用下さい。

【 広島県警察サミット対策課 ホームページURL 】

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/police-summit>

<お問合せ先>

中国運輸局 交通政策部 広島サミット担当	<u>TEL:082-228-3496</u>
中国経済産業局 総務企画部 総務課	<u>TEL:082-224-5615</u>
中国四国農政局 企画調整室	<u>TEL: 086-224-4511</u>
広島県警察本部 サミット対策課	<u>TEL:082-228-0110 (代表)</u>
	(内線 5991, 5992)